

トボール等、その他体育功労者の表彰、スポーツテストの会、町民ハイキングの会、登山会、町民運動会等を各市町村に実施。

- (5) 概況 昭和41年体育の日の参加51市町村約6万人に比べれば大巾の増加ぶりであるが、200万県民からみると10%以下の参加者であるので各市町村が多数参加のできるよう企画し、スポーツの生活化につとめ体育の日制定の趣旨を生かされることを希望する。

11 青少年スポーツ活動指導者スキー講習会

- (1) 期日 昭和43年1月16日～18日
 (2) 会場 耶麻郡猪苗代町沼尻スキー場
 (3) 講師 福島大学助教授 鈴木 勝衛
 福島県教育庁保健体育課体育係長 松山 六郎
 郡山市教育委員会事務局主事 国馬 善郎
 全日本スキー連盟公認指導員 加藤 敏夫
 " 樋口 威
 (4) 対象 体育指導委員、スポーツ少年団関係者、市町村教育委員会関係者、小・中・高校教員
 (5) 参加人員 21名
 (6) 内容 実技 初歩スキー技術の指導法について
 理論 スキー事故の防止について
 研究協議 青少年の冬季スポーツ指導上の問題点
 (7) 概況 参加者は技術熟練者が多かったが、スキー教室等開催の無雪地区の指導者を対象に初歩スキーの講習に改めてまいりたい。

12 ユースホステル普及講習会

- (1) 期日 昭和43年3月7日～9日
 (2) 会場 耶麻郡猪苗代町磐梯友愛山荘
 (3) 講師 福島大学助教授 佐藤 克己
 福島県教育庁保健体育課主事 齊藤 久
 福島県ユースホステル協会長 碓井 橘造
 その他
 (4) 対象 ユースホステル会員、体育指導委員、小中高校教員、教育委員会関係者
 (5) 参加人員 31名
 (6) 内容 ユースホステル活動の現状と将来について
 ミーティングの進め方について
 冬季ホステル活動について
 (7) 概況 ユースホステル会員以外の参加者もユースホステル活動についての理解を深め、この普及に一役買っていただけのもと思う。時期が悪く学校関係の参加者が少なかったので開催の時期を気候の良い参加し易い時期に実施したい。

13 体育指導委員ブロック研修会

- (1) 期日及び会場

昭和43年3月11日 郡山市立芳山小学校
 " 12日 いわき市立平第一小学校
 " 13日 喜多方市立喜多方第一小学校

- (2) 講師 福島大学助教授 青田 峯雄
 福島県教育庁保健体育課体育係長 松山 六郎
 " 主事 斎藤 久
 " 郡山教育事務所指導主事橋本生司
 " いわき " 鈴木 守
 " 耶麻 " 林 千代志
 (3) 対象 体育指導委員
 (4) 参加人数 郡山会場(東北・県南) 45名
 いわき(いわき・相双) 23名
 喜多方(会津) 23名
 (5) 内容 講演 社会体育推進上の諸問題
 事例発表 参加市町村
 研究協議 地域スポーツ振興はどうしたらよいか。
 実技研修 家庭バレーボール
 (6) 概況 参加者は少なかったが、熱心に研修した。特に地域代表の人たちは地域スポーツ振興に熱心であるように見受けられた。又、県体実施予定の家庭バレーボールとソフトボールには強い関心を示しこれらを県体にとり入れることにより、体育指導委員の活動に新分野を開拓するものと思われる。

第7節 スポーツの振興

本県スポーツ振興のため、前年に引き続きスポーツ人口の増大と選手の強化につとめた。県のスポーツ人口(中学校以上の学校の運動部員および競技団体に登録した社会人選手)は、全国の11位にあたる15万名を数え、競技人口が増加し、第20回県体において219の新記録を生み、第22回国民体育大会における男女総合成績は昨年の26位から17位に躍進する等、技能の向上も著しかった。また、昭和42年10月8日より10月21日まで、メキシコ市において行なわれたプレオリンピック大会重量拳競技ミドル級出場の大内仁選手(小名浜水産高卒)は、世界新記録を樹立し、日本のため万丈の気を吐いた。このように県民がスポーツに対し強い関心を示しているなかで、次の事業を施行し、十分なる成果を収め所期の目的を達成した。

1 第20回福島県総合体育大会

県総合体育大会は、昭和23年福島市において第1回大会を実施して以来、すでに13万余名の選手の参加を数え、本県スポーツ振興に重要な役割を果たしてきたが今回も陸上競技等5種目に219の新記録を生み、他の種目においても技術の向上が目立った。実施状況は次のとおりである。